

編集者の 独り言

4月号ですね。春の訪れとともに、新しい1年が始まります。桜が咲き始めるこの季節は、何度迎えてもやっぱり特別で、何年教員をやってもドキドキとワクワクでいっぱいです。毎年繰り返されるけれど、同じ1年は決してなく、新しい出会いへの期待と、未知の1年への緊張感が入り混じった、独特の感覚です。「今年は大丈夫かなあ？」なんて言っていると、学生さんに「先生、毎年そんなこと言ってますよ」と言われます。

振り返れば、1年が過ぎるのは本当にあっという間で、ついこの間、新年度の準備に追われていたような気がするのに、もう次のサイクルがやってきたのかと、時の流れの早さに驚かされます。特に年が明けてからの数ヶ月は、大学にとっても怒涛の時期で、卒業論文や修士論文の提出・発表、入試対応など、目まぐるしい日々が続きます。そして最後には晴れやかな笑顔で、研究室で長い時間を一緒に過ごした、共に戦っ

てきた戦友とも言える学生たちが立派になって巣立っていく姿を見るのは、嬉しさと同時に少し寂しさも感じる瞬間です。そして同時に、戦友を失う不安もあります。

私にとって、3月の日本化学会春季年会も大きな節目の1つです。学部4年生の研究を始めて以来、毎年欠かさず参加してきたこの学会は、私にとって特別な意味を持っています。年会に参加するたびに、自分がこの分野で研究を続けてこられたこと、そして今なお化学に向き合い続けていられていることを実感し、感慨深い気持ちになります。かつての恩師や昔からの友人に会えること、来年も会いたい、会える自分でありたいと思うことも次年度に向けての原動力の1つです。

そしてまた4月が迎えられたことに感謝し、目の前の一日一日を大切にしながら、気を引き締めて新しい1年を楽しみたいと思います。 (矢島知子)

カラー写真ご提供のお願い

化工誌編集委員会

本誌の目次や編集者の独り言下に掲載するカラー写真を広く会員の皆様からのご投稿をお願いしています。ご投稿いただいた写真は編集委員会で適宜選択して使わせていただければと考えています。ご投稿の際にはごく簡単な説明をつけていただき、電子ファイルの場合には高解像度のもの(300DPI以上)をお送り下さい。

以下のような写真のご提供をお待ちしています。

1. 季節感のあふれた風景・草花・野鳥・動物の写真など
2. 化学に関する写真—カラフルな物質、化学模型、電顕写真、実験機器、化学プラントなど

送付・問合せ：101-8307 東京都千代田区神田駿河台 1-5
日本化学会 学術情報部 「化学と工業」誌担当
FAX(03)3292-6319 E-mail: kakoshi@chemistry.or.jp



ハナズオウ 務台 潔